

九州大学・大分大学学生による大通り再生の試案（2021年7月）

日の里 NEXT50 駅前大通り再生案

現在、一丁目のUR住棟103号棟、104号棟の取り壊しと跡地活用が検討されています。そこで、単なる建て替えではなく、道路や広場のデザインと組み合わせることで大通り全体を魅力的にするデザイン案を、若気の至りで勝手に考えてみました

日の里 NEXT50 駅前大通り再生案（2021年7月発表）

企画：日の里暮らしの編集室

製作：【都市計画】九州大学黒瀬史研究室

（井本圭亮、遠藤瑞帆、大山万智、平田颯彦、松永悠希、山本英輝）

【地域交通・活性化】大分大学大井尚司研究室

（中嶋彩乃、土師陽菜子、橋本実咲、日浅優香、錦水友里、渡邊美雅）

【建築計画】大分大学柴田建研究室（野村達太郎、矢野見明）

アドバイザー：光浦高史（DABURA.m株式会社代表）

建て替えと減築リノベ —建物提案—

103、104号棟について、どちらも建て替えるのではなく、1棟はあえて残して、減築の上コミュニティ拠点にリノベーションすることで、日の里の中心としての密度と魅力の向上を目指します。

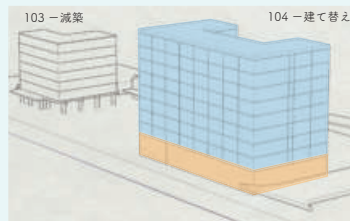


現在の104号棟（手前）と103号棟（中心）

104号棟→民間マンションへの建て替え

新しいマンションは、低層に店舗と駐車場、3～9階は住宅96戸を計画しています。

コミュニティ拠点や広場と一体的にデザインすることで、住まいとしての魅力が高まります



103号棟→5階建てに減築+リノベーションで、新たなコミュニティの拠点に

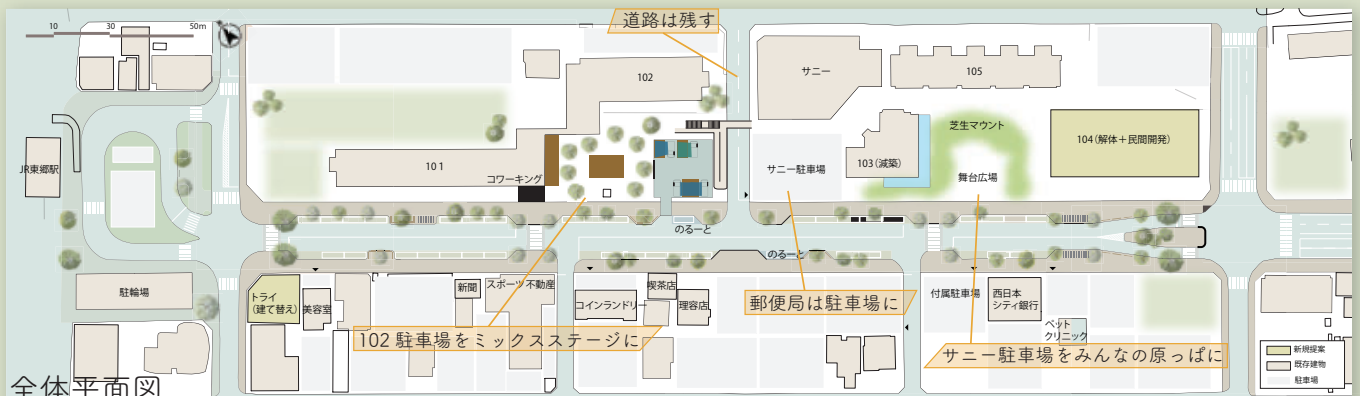
103号棟は減築したうえで、地域・民間・公共が活用する日の里の新たなシンボルとしてリノベーションします。



1F：CoCokara ひのさと2（多目的なコミュニティスペース+自習室）
2F：ブックカフェ（1日のんびりいられる素敵な場）+コミュセン分室
3F：コミュニティ銭湯（住民+ゲストハウス客の交流）+コミュセン分室
4・5F：ゲストハウス（世界中から宗像と団地の見学に）
屋上：地元の食材を使ったピアガーデン+テントスペース

性格異なるふたつの広場 —広場案①—

103号棟-104号棟の間のサニー駐車場と、102号棟前の駐車場をそれぞれ性格の異なる2つの広場に再生



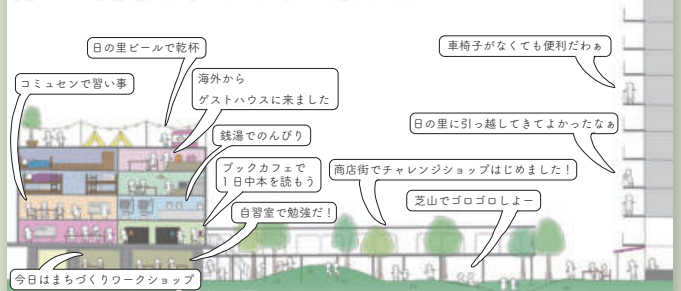
全体平面図

2つの広場で大通りの魅力アップ



全体イメージ

何かが始まる、みんなの原っぱ



みんなの原っぱ断面図

多世代で住む+働く、ミックスステージ



ミックスステージイメージ

多様なサードプレイスに囲まれた自由な原っぱ



みんなの原っぱイメージ

ちょい寄りで楽しい日の里ライフ —道路の提案—

道にちょっと車を止めてお店や広場に寄ってみる“ちょい寄り”を楽しむ、日の里の新しい未来を考えました！

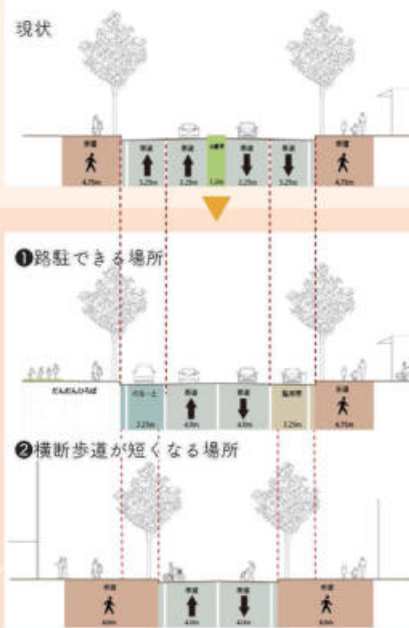
日の里大通りの現状

- ・4車線の道路が広すぎて活用されていない
- ・横断歩道が長くわたりづらい
- ・大通りの人通りが少ない

将来像

道路の両側1車線を、歩行者の休憩やちょい寄りのためのスペースに変えて楽しい通りになります

- ① 路駐スペースが生まれ、ちょい寄りやすくなります
- ② 横断歩道が短くなり、渡りやすくなります
- ③ 通りに新しいお店が出店して賑やかな道になります
- ④ 駅前の建物が生まれ変わり日の里の新たなシンボルになります
- ⑤ 8丁目交差点の樹木は大通りのゲートになります



③ 大通りに出店した店の様子



④ 駅から通りを見る



⑤ 8丁目交差点から通りを見る

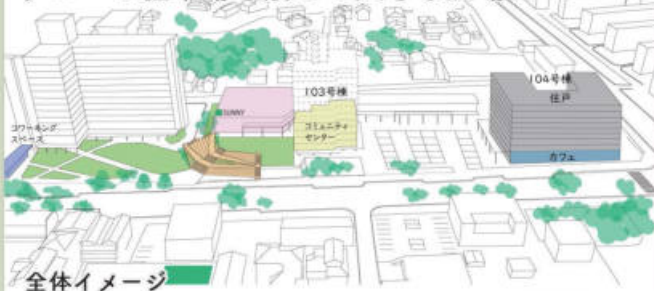


みんなが集まるだんだん広場 —広場案②—

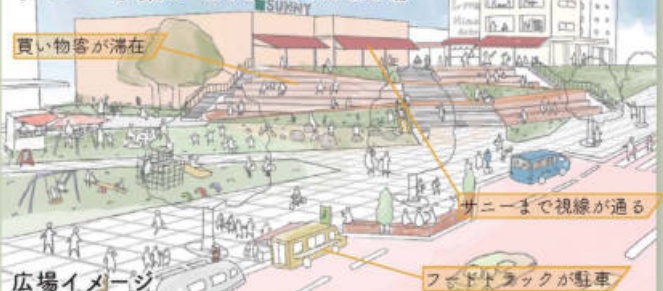
郵便局を移転し、102号棟とサニーの前に日の里みんなが集まる大きな広場を作ります！



サニーの駐車場を残して大きな広場に



サニーと繋がるだんだん広場



分節してできる、それぞれの居場所



自由に過ごせる多様な広場

